

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 事業所番号, 法人名) and Value (e.g., 0171401698, 株式会社 ノア).

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=0171401698-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 評価機関名, 所在地) and Value (e.g., タンジェント株式会社, 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号).

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・入居者様、入居者様のご家族様、そして、職員を含む大家族で生活していく場所として、ゆったりとした平屋作りの中で、普段からユニット間で、利用者様が、交流を持ちながら、一人ひとりにあった暮らし方が出来る様に、そして、それぞれの生活のリズムに合わせながらも、皆様で、体操・音楽を楽しんだり、趣味や得意なものを続けて頂く事で、「生きがい」を感じながら、認知症の進行を少しでもゆるやかにするように、努力していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

幹線沿いのバス停が程近くにあり、交通の利便性に恵まれた中に開設14年目を迎える木造垂鉛メッキ鋼板葺 平屋建て2ユニット(定員:18名)の認知症対応型生活介護事業所(グループホーム)です。町内会の夏祭り、盆踊りへの参加や事業所の避難訓練に地域の人々の協力を得たり、ボランティアの慰問で手打ち蕎麦の実演や町内会の草刈りやごみ拾い等への協力等で地元の人々との日常的な交流に努めている。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: Item No., Item Description, Achievement Level (1-4), and Achievement Level (1-4). Rows 56-62.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は、事業所の理念を理解し、サービスの向上に努めている。又、玄関に事業所の理念を掲げている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作り、ユニット会議や全体会議等で話し合い、職員間でその理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事のある時、避難訓練・花火大会・草刈りなどのご参加を頂き、利用者様との交流をしている。又、東富岡町会のごお便りを頂き、町会の夏祭りを利用者様数名と楽しませていただきました。	町内会の夏祭り、盆踊りへの参加や事業所の避難訓練に地域の人々の協力を得たり、ボランティアの慰問で手打ち蕎麦の実演や町内会の草刈りやごみ拾い等への協力等で地元の人々との日常的な交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議をとうして、又、ご参加くださった行事の中でご理解を頂けるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間6回の運営推進会議を開催し、避難訓練・花火大会・草刈りなどの声がけ・報告をすると共に、ご参加を頂きながら、利用者様とご家族へのサービス向上の取り組みを心掛けている。	運営推進会議を定期的に開催して、日常生活の様子や事業所の運営状況等の具体的内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	函館市福祉課・生活支援課・生活保護課の担当者には、色々な面で連絡し、ご相談させて頂いています。	市担当者及び包括支援センターとは、日常業務を通じて情報交換を行い、指導や助言等を得ながら協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	H30年度の内部研修においては、3回行っています。身体拘束・及び身体拘束廃止のマニュアルを作成し、ご家族への説明を再度行って、同意書を頂いております。	虐待防止委員会、身体拘束廃止委員会が中心となって、内部研修会を開催して職員間に周知しており、指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を立て、身体的な暴力・言葉の暴力・介護放棄・経済的な虐待などの種類があることを知り、内部研修を重ねて、虐待防止に努めている。今年度は、外部研修への参加もして、理解を深めるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	9月に行われた函館市社会福祉協議会・函館市成年後見センターの主催するセミナーに参加して、学ぶ機会を持っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様、ご家族様が、疑問や不安をお話しされた時は、必ず、話し合いを設けると共に、必要な時には、代表取締役社長・取締役からの説明を頂き、ご理解・納得をいただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成・変更の際に、ご家族への説明を行いご要望を伺うようにしている。又、普段からもお話しして頂けるようにしている。ご意見を頂いた時は、職員が周知しやすいように、している。	本人・家族、来訪者等が意見や苦情等を言い表せるように苦情等を受け付ける意見箱を玄関入り口に設置している。また、そこでの意見等を運営に反映できるよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年2回評価の際、面談を設けており、個々の意見を聞き取りやすくすると共に、日常的に提案し易いようにしている。尚、全体会議・ユニット会議を開き、そこでの意見・提案は、反映出来る様に努めている。	個人面談の実施やユニット会議、全体会議等を通じて職員の意見や提案を聞く機会を設け、そこでの意見等を運営に反映できるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	パート職員から正社員への登用を行っており、勤務状況の把握に努めるとともに、各自が、目標を持ち、そこに向かって努力し、達成出来る様に職場環境の整備に努めている。また、人事考課も有効活用している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりのケアを尊重しながら、色々な働きかけがあることなどを内部・外部研修への参加をとおして、自分達のケアについての振り返りの機会を設けている。人事考課での自己評価等でも自身のケアの有り方を振り返っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	南北海道グループホーム協会・函館市・地域包括支援センターからの勉強会のご案内を頂き、参加すると共に、交流をはかりながら、サービス向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様が何を望み、どのようなところに不安を抱いているのかを、ご本人・ご家族様との面談での聞き取りや、基本情報からも拾い、職員へは会議を開き注意すべきところは、特に周知し安心して頂けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が、ご本人様に対し何を一番大切に接してこられたのか、入居後も、ご家族様との関係のお手伝いをどのように望んでおられるかを伺って、ご家族様の生活に無理のないよう関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	デイケアサービスなどを継続して、ご利用していただいたり、ご本人様・ご家族様のご要望を伺って、話し合いながら、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする方々と、ご本人様が得意な事を受け入れて頂けるように職員が寄り添い、ご本人様が困っているところは、間に入り関係作りに努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	かがやき便り(月1回発行)に行事の様子や翌月の行事をお知らせしています。面会・お電話などは自由で、お金や病気の事だけでなく色々なお話しをさせて頂きながら、ご家族様との時間を大切にさせて頂けるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎日来られるご家族もおられ、ご家族との時間をご家族が無理のないように見守っている。又、おしゃれな方は、施設にくる美容室ではなく、馴染みの美容室へご家族が、お連れして下さっている。病院への通院の際、食事を楽しんで来られる方もいる。	馴染みの美容室訪問や町内会の夏祭り参加、外食に出かけるなど馴染みの人や場所との関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共通の話題や体操・音楽・ゲーム・家事・昔話などを交えて、職員がご利用者様同士が関わり合いを持って暮らして頂ける様に、又、利用者様同士が、おしゃべりしたり、楽しんで頂けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居される時は、情報を提供し、移られた先でも困ることがないようにご家族様の相談に応じています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その時々の変化する思いや叶えられないご希望にも耳を傾けて、お気持ちに寄り添えるよう日々心掛けている。細かい変化においては、申し送り・会議などで話し合っ、支援するよう努めている。	センター方式を活用して、一人ひとりの意向や暮らし方の希望を把握して職員間で情報を共有し、本人本位に検討している。	
----	---	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様・ご家族様・ご友人その他関わりのある方々からの情報を頂き、馴染みの暮らし方が出来る様にお話し合いを大切にして、把握できる様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録・業務日誌・受診記録などで、過ごし方・体調の変化を記録し、申し送り等で共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々変化する利用者様の様子や関係者等の話し合いの上で、現状に即した介護計画をケアマネージャーが細やかに作成し、それらを職員全員が周知し実践している。	本人・家族からの意見や要望、医師からの指導や助言、ユニット会議やモニタリングを通じて職員の意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に介護記録に記入して、日々の様子や変化等の情報を職員が共有し、実践出来る様に心掛けているとともに、申し送りの際には、特に気を付けている。会議を開き、介護計画の見直しに活かせる様に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様・ご家族様の状況の変化に対応する為に、様々なサービスのご提案をして、要望にお応え出来る様に心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を開催し、屋外での行事のお知らせは勿論のこと、地域の商店との取引をして、ご理解・ご支援を頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族とご本人の希望を伺い、かかりつけ医の受診が、出来るように支援している。	受診は、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、往診や日常の健康管理、通院等への支援で適切な医療を受けられるようにしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関との連携(ご家族様・ご本人様の希望を含む)において、往診等のご支援を頂き、日常の健康管理はもとより、通院等、適切な医療を受けて頂けるように努めて、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の情報提供し、入院中の様子を伺ったり、退院前にはご家族様・病院と連携し、カンファレンスを行い、退院後の生活支援に万全を期す様に心掛けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	昨年は、死亡退去者が1名おり、看取りケアについても職員の勉強会の必要性を感じているが、重度化した場合や終末期において事業所で出来る事を説明し、ご本人様・ご家族様との話し合いした事を事業所の指針として職員間で共有する様に、している。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合い、事業所ですることを十分に説明しながら指針を職員間で共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成しているが、今後研修を増やすことや、外部からの講師の研修を検討中である。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	新しいマニュアル作成に取り組んでいる。取り急ぎ、ストーブ・電灯・飲料水・缶詰めの見直しを検討、実行している。津波のマニュアルは、作成中である。年2回の避難訓練は、実施している。	地域の協力を得ながら、消防署の協力も得て年2回の昼夜を想定した火災避難訓練を実施している。また、北海道胆振東部地震を踏まえて自然災害(津波、停電、食料の備蓄等)に対応したマニュアルの整備を検討している。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	高齢者虐待防止の内部研修や外部研修への参加等で学び、また、学んだことの実行にも努めている。虐待防止・身体拘束廃止などの勉強会を通して、振り返りの機会も設けている。	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように虐待防止や身体拘束廃止等の外部研修会参加や内部研修会を開催して、職員間に周知している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様が選択する場面(おやつを選ぶ等)をつくり、声がけをしながら行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	食事・水分補給・排泄・入浴・足浴・レクリエーション等一人ひとりその方のその日の状態に合わせて、楽しく、穏やかに生活して頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や入浴後は、特に、ご希望を伺って、身だしなみやお洒落が出来る様に支援している。また、訪問美容室のご協力を頂き、ホーム内においてもお洒落を楽しめる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に準備出来る利用者様は、今現在難しく、茶碗ふき、お盆ふき、テーブル拭きなどのお手伝いをお願いしている。アレルギー・食事の好みなど献立作成に反映している。	一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備や後片付けなど職員と一緒にしている。また、ボランティアの協力を得て蕎麦打ちの実演や時には、外食にも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量・食事量を記録し、把握できるようにしている。一人ひとりにあった普通食・刻み食・ミキサー食、とろみ付けなど、体調の状況や嚥下状態に応じて工夫をしながら提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	昼食・夕食前には、口腔マッサージ等や歌をうたってみたりと、毎食後は、口腔ケア義歯洗浄を行っている。又、必要に応じて、ご家族様と話し合っ、歯科受診・歯科医師の往診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを掴みながら、体調管理の一つとして排便コントロールにも気を付けている。(病院の受診・往診時にDr.にご相談しながら) 又、歩行にふらつきがある方へは、トイレまで付き添うなどの支援をしている。	一人ひとりの力や排泄パターンを排泄チェック表で把握して、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ自然排便を促せる様に、食事・水分(牛乳・ヨーグルト・食物繊維の多いココア等)に工夫しているが、難しい方は医師のご指示のもと、薬を使用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	一人ひとり、その時の体調を確認し、入浴のお誘いをしています。入浴を好まない利用者様にも声がけを工夫して、楽しんで頂けるように努めている。体調に合わせてシャワー浴・清拭での対応も行っている。	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じた柔軟な入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムを整えるのに大切な睡眠は、日中の運動や活動を多くして、不安な気持ちを取り除けるような接し方やコミュニケーションをとることにより安心して眠る事が出来る様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員一人ひとりが、薬に関する知識や目的・副作用などを理解するように努力している。また、飲み忘れ・誤薬のないようマニュアルの見直しをしているところです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事参加・レクリエーション・行事・ご利用者様同士の談話、職員とのコミュニケーションを通じて、生活の楽しみや張り合いを見つけて頂けるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出のご希望には、なかなか難しいが、個々に可能な限りお応えできるよう心掛けている。春・夏・秋には、外回りの花壇などの整備を一緒にし、楽しんで頂けるように努めている。	馴染みの美容室に出かけたり、クリスマス会や敬老会、節分等の季節に応じた行事の開催や日常生活の中でリハビリ体操を採り入れて、楽しみごとや身体機能の維持・向上に取り組んでいる。また、花壇の整備等で気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様との相談により、所持出来る金額が決まっているが、子供銀行のお札を使用する等などの工夫をしている。又、事業所にてお預り金を管理し、ご家族様の同意のもと、職員の付き添いで希望するものを購入し、その後、ご家族様にも確認頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お電話は、ご家族様とお話合いのもと、自由にかけられる環境にあります。又、お手紙や年賀状等ご家族様へ確認しながら、支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・食堂・廊下においては季節感を出すように、台所・浴室・トイレにおいては清潔保持に努めている。リビングルームでは、好きなテレビ番組や音楽をかけて、穏やかに居心地良く過ごして頂けるように職員が日々工夫している。	共用空間は、季節毎の飾りつけなどで生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるよう工夫している。また、利用者にとって、気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでくつろいでいただいたり、椅子を好きな場所に移動していただいたり自由に過ごして頂けるようにしている。お食事を一人で摂りたいと希望のある方は、テーブルと椅子をお部屋へ用意する等の配慮をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室掃除や馴染みの物が置けるように、又、お誕生会・敬老会などの写真を飾り、ご本人様が居心地が良く過ごして頂けるように努めている。	居室には、使い慣れた家具や寝具等が持ち込まれたり、行事参加の写真が掲示されるなど本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	平屋建てでバリアフリーになっております。お部屋に目印をつけ、トイレにも大きく分かり易い目印をつけて工夫している。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0171401698		
法人名	株式会社 ノア		
事業所名	グループホーム かがやき つつじユニット		
所在地	北海道函館市富岡町2丁目21番7号		
自己評価作成日	平成31年1月28日	評価結果市町村受理日	平成31年3月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=0171401698-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成31年2月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・入居者様、その御家族様、そして職員を含む大家族で生活していく場所として、ゆったりとした平屋造りの中で、普段からユニット間で利用者様が交流を持ちながらも、皆様で体操・音楽を楽しんだり、趣味や得意なものを続けて頂くことで「生きがい」を感じながら、認知症の進行を少しでも緩やかにするように努力していきます。
 ・協力医療機関(御家族様が希望される医療機関も含む)、地域の方々のご協力を頂きながら、住み慣れた地域で繋がりを大切に、いつまでも安心して生活して頂けるように努めて支援していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は、事業所の理念を理解し、サービスの向上に努めている。又、玄関に事業所の理念を掲げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事のある時、避難訓練・花火大会・草刈りなどのご参加を頂き、利用者様との交流をしている。又、東富岡町会のご便りを頂き、町会の夏祭りを利用者様数名と楽しませていただきました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議をとうして、又、ご参加くださった行事の中でご理解を頂けるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間6回の運営推進会議を開催し、避難訓練・花火大会・草刈りなどの声かけ・報告をすると共に、ご参加を頂きながら、利用者様とご家族へのサービス向上の取り組みを心掛けている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	函館市福祉課・生活支援課・生活保護課の担当者には、色々な面で連絡し、ご相談させて頂いています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	H30年度の内部研修においては、3回行っています。身体拘束・及び身体拘束廃止のマニュアルを作成し、ご家族への説明を再度行って、同意書を頂いております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を立て、身体的な暴力・言葉の暴力・介護放棄・経済的な虐待などの種類があることを知り、内部研修を重ねて、虐待防止に努めている。今年度は、外部研修への参加もして、理解を深めるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	9月に行われた函館市社会福祉協議会・函館市成年後見センターの主催するセミナーに参加して、学ぶ機会を持っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様、ご家族様が、疑問や不安をお話しされた時は、必ず、話し合いを設けると共に、必要な時には、代表取締役社長・取締役からの説明を頂き、ご理解・納得をいただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成・変更の際に、ご家族への説明を行いご要望を伺うようにしている。又、普段からもお話して頂けるようにしている。ご意見を頂いた時は、職員が周知しやすいように、している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年2回評価の際、面談を設けており、個々の意見を聞き取りやすくすると共に、日常的に提案し易いようにしている。尚、全体会議・ユニット会議を開き、そこでの意見・提案は、反映出来る様に努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	パート職員から正社員への登用を行っており、勤務状況の把握に努めるとともに、各自が、目標を持ち、そこに向かって努力し、達成出来る様に職場環境の整備に努めている。また、人事考課も有効活用している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりのケアを尊重しながら、色々な働きかけがあることなどを内部・外部研修への参加をとおして、自分達のケアについての振り返りの機会を設けている。人事考課での自己評価等でも自身のケアの有り方を振り返っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	南北北海道グループホーム協会・函館市・地域包括支援センターからの勉強会のご案内を頂き、参加すると共に、交流をはかりながら、サービス向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様が何を望み、どのようなところに不安を抱いているのかを、ご本人・ご家族様との面談での聞き取りや、基本情報からも拾い、職員へは会議を開き注意すべきところは、特に周知し安心して頂けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が、ご本人様に対し何を一番大切に接してこられたのか、入居後も、ご家族様との関係のお手伝いをどのように望んでおられるかを伺って、ご家族様の生活に無理のないよう関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	デイケアサービスなどを継続して、ご利用していただいたり、ご本人様・ご家族様のご要望を伺って、話し合いながら、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする方々と、ご本人様が得意な事を受け入れて頂けるように職員が寄り添い、ご本人様が困っているところは、間に入り関係作りに努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	かがやき便り(月1回発行)に行事の様子や翌月の行事をお知らせしています。面会・お電話などは自由で、お金や病気の事だけでなく色々なお話しをさせて頂きながら、ご家族様との時間を大切にさせて頂けるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎日来られるご家族もおられ、ご家族との時間をご家族が無理のないように見守っている。 又、おしゃれな方は、施設にくる美容室ではなく、馴染みの美容室へご家族が、お連れして下さっている。病院への通院の際、食事を楽しんで来られる方もいる。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共通の話題や体操・音楽・ゲーム・家事・昔話などを交えて、職員がご利用者様同士が関わり合いを持って暮らして頂ける様に、又、利用者様同士が、おしゃべりしたり、楽しんで頂けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居される時は、情報を提供し、移られた先でも困ることがないようにご家族様の相談に応じています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その時々の変化する思いや叶えられないご希望にも耳を傾けて、お気持ちに寄り添えるよう日々心掛けている。細かい変化においては、申し送り・会議などで話し合っ、支援するよう努めている。		
----	---	--	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様・ご家族様・ご友人その他関わりのある方々からの情報を頂き、馴染みの暮らし方が出来る様にお話し合いを大切にして、把握できる様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録・業務日誌・受診記録などで、過ごし方・体調の変化を記録し、申し送り等で共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々変化する利用者様の様子や関係者等の話し合いの上で、現状に即した介護計画をケアマネージャーが細やかに作成し、それらを職員全員が周知し実践している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に介護記録に記入して、日々の様子や変化等の情報を職員が共有し、実践出来る様に心掛けているとともに、申し送りの際には、特に気を付けている。会議を開き、介護計画の見直しに活かせる様に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様・ご家族様の状況の変化に対応する為に、様々なサービスのご提案をして、要望にお応え出来る様に心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を開催し、屋外での行事のお知らせは勿論のこと、地域の商店との取引をして、ご理解・ご支援を頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族とご本人の希望を伺い、かかりつけ医の受診が、出来るように支援している。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関との連携(ご家族様・ご本人様の希望を含む)において、往診等のご支援を頂き、日常の健康管理はもとより、通院等、適切な医療を受けて頂けるように努めて、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の情報提供し、入院中の様子を伺ったり、退院前にはご家族様・病院と連携し、カンファレンスを行い、退院後の生活支援に万全を期す様に心掛けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	昨年は、死亡退去者が1名おり、看取りケアについても職員の勉強会の必要性を感じているが、重度化した場合や終末期において事業所で出来る事を説明し、ご本人様・ご家族様との話し合いした事を事業所の指針として職員間で共有する様に、している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成しているが、今後研修を増やすことや、外部からの講師の研修を検討中である。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	新しいマニュアル作成に取り組んでいる。取り急ぎ、ストーブ・電灯・飲料水・缶詰めの見直しを検討、実行している。津波のマニュアルは、作成中である。年2回の避難訓練は、実施している。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	高齢者虐待防止の内部研修や外部研修への参加等で学び、また、学んだことの実行にも努めている。虐待防止・身体拘束廃止などの勉強会を通して、振り返りの機会も設けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様が選択する場面(おやつを選ぶ等)をつくり、声がけをしながら行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	食事・水分補給・排泄・入浴・足浴・レクリエーション等一人ひとりその方のその日の状態に合わせて、楽しく、穏やかに生活して頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や入浴後は、特に、ご希望を伺って、身だしなみやお洒落が出来る様に支援している。また、訪問美容室のご協力を頂き、ホーム内においてもお洒落を楽しめる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に準備出来る利用者様は、今現在難しく、茶碗ふき、お盆ふき、テーブル拭きなどのお手伝いをお願いしている。アレルギー・食事の好みなど献立作成に反映している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量・食事量を記録し、把握できるようにしている。一人ひとりにあった普通食・刻み食・ミキサー食、とろみ付けなど、体調の状況や嚥下状態に応じて工夫をしながら提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	昼食・夕食前には、口腔マッサージ等や歌をうたってみたりと、毎食後は、口腔ケア義歯洗浄を行っている。又、必要に応じて、ご家族様と話し合っ、歯科受診・歯科医師の往診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを掴みながら、体調管理の一つとして排便コントロールにも気を付けている。(病院の受診・往診時にDr.にご相談しながら) 又、歩行にふらつきがある方へは、トイレまで付き添うなどの支援をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ自然排便を促せる様に、食事・水分(牛乳・ヨーグルト・食物繊維の多いココア等)に工夫しているが、難しい方は医師のご指示のもと、薬を使用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	一人ひとり、その時の体調を確認し、入浴のお誘いをしています。入浴を好まない利用者様にも声がけを工夫して、楽しんで頂けるように努めている。体調に合わせてシャワー浴・清拭での対応も行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムを整えるのに大切な睡眠は、日中の運動や活動を多くして、不安な気持ちを取り除けるような接し方やコミュニケーションをとることにより安心して眠る事が出来る様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員一人ひとりが、薬に関する知識や目的・副作用などを理解するように努力している。また、飲み忘れ・誤薬のないようマニュアルの見直しをしているところです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事参加・レクリエーション・行事・ご利用者様同士の談話、職員とのコミュニケーションを通じて、生活の楽しみや張り合いを見つけて頂けるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出のご希望には、なかなか難しいが、個々に可能な限りお応えできるよう心掛けている。春・夏・秋には、外回りの花壇などの整備を一緒にを行い、楽しんで頂けるように努めている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様との相談により、所持出来る金額が決まっているが、子供銀行のお札を使用する等などの工夫をしている。又、事業所にてお預り金を管理し、ご家族様の同意のもと、職員の付き添いで希望するものを購入し、その後、ご家族様にも確認頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お電話は、ご家族様とのお話合いのもと、自由にかけられる環境にあります。又、お手紙や年賀状等ご家族様へ確認しながら、支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・食堂・廊下においては季節感を出すように、台所・浴室・トイレにおいては清潔保持に努めている。リビングルームでは、好きなテレビ番組や音楽をかけて、穏やかに居心地良く過ごして頂けるように職員が日々工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでくつろいでいただいたり、椅子を好きな場所に移動していただいたり自由に過ごして頂けるようにしている。お食事を一人で摂りたいと希望のある方は、テーブルと椅子をお部屋へ用意する等の配慮をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室掃除や馴染みの物が置けるように、又、お誕生会・敬老会などの写真を飾り、ご本人様が居心地が良く過ごして頂けるように努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	平屋建てでバリアフリーになっております。お部屋に目印をつけ、トイレにも大きく分かり易い目印をつけて工夫している。		

目標達成計画

事業所名 株式会社ノア GHかがやき

作成日: 平成 31年 2月 21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	13	資格取得を目指す職員がおり、職員一人ひとりが目標を持ち、目的達成の為に向上心を抱きながらチームワーク良く、動いて頂いているか。	資格取得希望者には、勉強を行う環境を作れるようにシフトを配慮し、全職員がその事を理解し支援する。一人ひとり目標を持ち、どのようにしたら目的達成した自分を描けるか考えて頂く事。	資格取得。一人ひとりの目標・目的を考えて頂く事。内部研修会の定期的・継続な開催。外部研修への参加の機会を増やして、職員が交代で参加出来る様にする。	12ヶ月
2	53	リビングのテーブル・椅子・ソファなどの配置や気のあった利用者様同士が、くつろいでいただける空間が作れているか。何故、利用者様同士の言い争いなどが日々起こるのか。	リビングルームの掃除から始めて、利用者様同士が、くつろげる居場所づくりをしていく中で、一人ひとりが、どのようなお気持ちで、どのような事を希望されているのかなどの新しい気付きを増やす。	リビングの掃除から始めていきながら、利用者様同士が、くつろげる時間帯や一人ひとりが、どんな希望を持っておられるかなど、家事・食事・体操・音楽・ゲーム・色々な作品をつくりながら、新しく馴染みのある空間をみんなで一緒につくる。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。